

令和 6 年度

美深町行政評価報告書

(令和 5 年度施策)

令和 6 年度行政評価（令和 5 年度施策）について、次のとおり報告する。

令和 6 年 8 月 28 日

美深町行政評価町民委員会 委員長 齊 藤 宏 行

美深町行政評価委員会 委員長 川 端 秀 司

1 評価の対象

第6次美深町総合計画に基づいた29の施策を評価した。

2 評価の方法

163の事務事業からなる87の主要施策について、行政評価委員会から提出された評価調書及び補足説明によって、3部会において担当する施策を4段階で評価した。

※1 行政評価町民委員会 委員長 齊藤 宏行 副委員長 佐竹 仁 (◎は部会長 ○は副部会長)						
福祉教育部会	◎佐竹 仁	○花井あゆみ	宇野 育子	赤川 拳士	工藤 裕美	成田 咲映
産業経済部会	◎遠藤 伸浩	○齊藤 雄太	菅野 勝義	向井 朋博	山下 朋子	
環境行財政部会	◎村本 修二	○関下 英明	齊藤 宏行	清水 節子	澤田 恵子	

※2 行政評価委員会（行政内部） 委員長 川端 秀司 副委員長 中江 勝規 (◎は部会長 ○は副部会長)						
福祉教育部会	◎大堀 裕康	○小林 一仙	井川 健			
産業経済部会	◎山崎 義典	○中林 秀文	後藤 裕幸	小野 勇二		
環境行財政部会	◎桜木 健一	○竹田 哲	中江 勝規	酒井 博昭		

※3 三部会の評価施策数		
福祉教育部会	11施策	〔37主要施策（56事務事業）〕
産業経済部会	6施策	〔17主要施策（44事務事業）〕
環境行財政部会	12施策	〔33主要施策（63事務事業）〕

※4 四段階評価	
A評価 取り組んでいる	B評価 概ね取り組んでいる
C評価 一層の取り組みが必要	D評価 取り組みが見られない

3 評価の経過

美深町行政評価の実施に関する取扱要綱に基づき、令和6年7月31日に第1回行政評価委員会を開催以降、8月8日に第1回の行政評価町民委員会を開催し、次のとおり行政評価を実施した。

- ・ 5月17日 1次(事務事業)評価調書作成
- ・ 6月 7日 2次(主要施策)評価調書作成
- ・ 7月31日 第1回行政評価委員会
- ・ 8月 8日 第1回行政評価町民委員会

- ・ 8月 8日 第1回各部会開催 (2次評価結果確認作業・3次評価)
- ・ 8月20日 第2回福祉教育部会 (2次評価結果確認作業・3次評価)
- ・ 8月28日 第2・3回各部会開催 (3部会評価結果確認)
第2回行政評価町民委員会

4 評価の結果

29施策のうちA評価は23施策 [79.3%]、B評価は6施策 [20.7%]、C評価、D評価はなかった。

このようなことから、第6次美深町総合計画に基づく施策については、取り組みがなされている若しくは概ね取り組まれているものと評価できる。

主要政策ごとに区分した施策の評価結果の概要については、以下のとおり。

1 人と自然が調和する快適で安全なまち		2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち	
1 環境保全・環境衛生の推進	A	1 農業の振興	A
2 道路・交通網等の整備	A	2 林業の振興	A
3 住宅の整備	B	3 商工業の振興	B
4 土地の有効利用	A	4 観光の振興	B
5 消防体制の充実	A	5 新たな産業の振興	B
6 防災体制の充実	A	6 就労対策・勤労者福祉の充実	B
7 交通安全・防犯対策の推進	A		
8 情報化の推進	A		
9 消費生活対策の推進	A		
3 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち		4 健やかに安心して暮らせるまち	
1 幼児教育の充実	A	1 健康づくり・医療の充実	A
2 学校教育の充実	A	2 子育て環境の充実	A
3 社会教育の充実	A	3 高齢者支援の充実	A
4 芸術・文化活動の推進	A	4 障がい者支援の充実	A
5 スポーツ活動の推進	A	5 地域福祉の充実	A
		6 社会保障の充実	A
5 みんなでつくる自立したまち		集 計	
1 住民参画のまちづくりの推進	A	A評価	23施策 [79.3%]
2 関係人口の創出	A	B評価	6施策 [20.7%]
3 行政経営の充実	B	C評価	0施策 [0%]
		D評価	0施策 [0%]
		計	29施策

○ 人と自然が調和する快適で安全なまち

環境保全・環境衛生の推進

有害鳥獣への問題は年々増加しており、特にクマの出没が美深町でも増えている。対策として地元猟友会を中心に必要に応じて捕獲しているほか、タイムリーな情報を発信し、被害の未然防止に努めている。

水道・下水道施設については、計画的な整備により安心して使うことができているが、耐用年数の経過による設備の劣化などに、引き続き十分に対応されたい。

循環型社会の推進、とりわけゴミの分別を中心とした住民意識の向上は、即効性があるものではなく地道な取り組みになると思うが、継続して対応が必要である。新たにスタートする広域でのごみ処理施設建設についても、建設に関することのほか、建設後の利用についてなども、地域住民の声を十分に聞きながら丁寧に進められたい。

道路・交通網等の整備

公共交通の維持は、特に少子高齢化が進む地域においては必要不可欠であり、住民の足として定着しており、なくてはならないものである。

バス路線については、町民が町内で移動するために利用するほか、町外から通学のために利用する学生が増えるなど、近年新たな利用者也増えてきている。費用対効果の面で見ると厳しい状況もあるのは事実だが、それでも必要とされる公共交通を、引き続き維持していくことが必要である。

道路整備については、老朽化が進む道路・橋りょうの点検・補修は計画的に実施されており、引き続き安全に利用できるよう整備を進められたい。

住宅地区道路、除雪の整備についても、様々な意見や要望がある中で、地域住民の声を聴きながら対応していると評価する。

住宅の整備

公営住宅の維持管理については、長寿命化計画に基づいて管理戸数の維持が進められているところである。引き続き町内の状況を把握しながら、適正な維持に努められたい。

住宅は老朽化によって順次更新をしてきているが、特に冬期間の積雪による問題が生じることもあり、住宅の構造や除排雪スペースの確保など、地域住民の声を聞きながら快適な住環境の維持管理に努めていく必要がある。

土地の有効利用

土地の有効利用については、引き続き土地形態に適した利用がなされるよう進められたい。

町内に存在する空き家の問題については、ひどいものはその劣化が進み危険を及ぼす可能性のある状態である。引き続き所有者との協議などから、解体や再利用に進めるなど、良好な街並みが維持されるような対応に努められたい。

公園の管理については、指定管理者によって適正な管理がされている。引き続き安全な施設を維持できるよう対応されたい。

消防体制の充実

消防・救急体制に関しては、施設、設備の整備をはじめ、人材育成を基本とした職員教育など対応がなされており、住民の安心・安全な生活が図られている。

また、近年はデジタル化の進展に加え、ドローンなど新たな機器による救命活動も進められており、これらの更なる活用による体制強化にも期待したい。

いずれも、引き続き緊急時への備えのほか、地域住民個々の意識の向上を図られたい。

防災体制の充実

日ごろから災害が少ない地域であるため、地域住民の防災意識が低下していることは否めないが、町としては非常時に備え備蓄倉庫の整備、備蓄品の整備や補充などは着実に進められている。

全国各地では今まで経験したことのないような大雨による災害や、地震による大規模災害などが珍しくない状況にある。引き続き、定期的な情報の発信や、防災訓練の実施など、あらゆる方法で地域住民の防災意識の向上を図ることが必要である。

交通安全・防犯対策の推進

交通安全・防犯対策の推進については、美深町地域安全推進協議会をはじめとした様々な団体で啓発活動に取り組まれている。

また、交通安全指導員の活動も、高齢者や歩行者などの地域住民の交通安全に寄与しており、引き続き指導員の育成・確保を図りながら活動を継続していく必要がある。

近年は詐欺被害などにおいてその手口が巧妙化しており、これらの被害から地域住民を守るためにも、情報の収集に努め、積極的な注意喚起に努められたい。

情報化の推進

光ファイバー網は全町に整備されており、引き続き情報伝達が快適に行われるよう設備の維持管理に努められたい。

デジタル化の推進によってあらゆるものの利便性向上が期待できる一方、なかなかこれらに対応できない方などの意見も聞きながら、両面でのサポートが必要である。

防災情報端末機については、緊急時の情報伝達手段としての役割を果たせるよう、日ごろから地域住民が利用しやすい環境を整備することが必要である。合わせて、防災情報端末機の機能を補完する意味としても、防災情報アプリの更なる利用者拡大も進められたい。

消費生活対策の推進

消費生活対策については、特に相談業務において多様化する詐欺被害などに対応するために住民のニーズが高くなっている。

身近な相談は役場でも対応できるが、内容によっては相談しにくい案件もあり、これらについては近隣5市町村で設置している広域消費生活窓口に専門的知識をもった職員を配置し、適切な相談が受けられる体制が取られている。引き続き現状の体制を維持されたい。

以上のとおり、『人と自然が調和する快適で安全なまち』における施策評価は、A評価が8施策、B評価は1施策であり、全9施策について良く取り組まれていると評価します。

○ 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち

農業の振興

現在の農業情勢は、歴史的な円安とウクライナ情勢の影響を受けて、燃料・肥料・配合飼料等の生産資材価格等が高騰し、農畜産物の生産コストが上昇している状況にある。一方で、農畜産物の価格は横ばいで推移しており、コスト上昇分を販売価格に反映できず、農業の生産現場は、厳しい状況が継続している。

国は、農業の憲法と言われる「食料・農業・農村基本法」改正や農地や担い手に関する「地域計画」、環境負荷軽減の取組みである「みどりの食料システム戦略」、先進技術の導入の後押しとなる「スマート農業技術活用促進法」の制定など農業の転換期を迎えており、地域農業の持続的な発展に向けて、総合的な推進を図っていかねばならない。

また、地域課題である高齢化や担い手不足、労働力不足、耕作放棄地・荒廃農地発生防止など課題解決に向けて、生産者等の要望による水稻、畑作、酪農・畜産の多くの補助事業等を実施している。

ソフト面では、「がんばる美深農業支援事業」を中心とした各種施策の積極的な取り組みやハード面では小規模土地改良事業や農業農村整備事業、草地整備など基盤整備の事業についても実施し、将来の農業の担い手となる人材の確保に向けた総合的な事業の継続化が必要である。令和5年度については、国の各事業の実施や町のスマート農業推進事業などこれからの農業を見据えた取組みもみられ一定の評価をるところである。

林業の振興

植えて、育てて、伐って、使うという50年以上の循環サイクルによって、森林が持つ多面的機能の発揮と林産業の振興、さらに持続可能な開発目標の観点からも、欠かすことのできない事業である。

しかし、森林がもたらす恩恵を受けている実態が目に見えないという課題を抱えており、二酸化炭素吸収量をクレジット化する「J-クレジット」において、多面的機能の一部に関する対価として、販売金額が5,659千円と可視化が可能となり、貴重な自主財源としても成果が出ている。

また、令和5年度は、林野庁主催の「森林×脱炭素チャレンジ2023(森林づくり部門)」において、優秀賞(林野庁長官賞)を受賞し、40年以上にわたり植樹祭を開催してきたことなど森林整備等への取り組みが、全国的な見地からも評価されたところである。

林産業における新たな財源であるJ-クレジットと森林環境譲与税は、担い手対策、経営強化並びに林産材普及促進など有効に活用され、林産業全体の振興につながっており、高く評価できる。

商工業の振興

商工業の振興では、商工会への補助により商店街の街灯のＬＥＤ化やバナーの更新とあわせて各種イベントもコロナ禍前の形式にもどり、さらにはプレミアム商品券事業を実施などの対策が講じられており、商店街の賑わいの創出やまちの活性化が図られている。

町民、商工業を支える「快適な住まい環境と商工業振興事業」については、制度を一部拡充した新たな条例として事業を実施。「商工業担い手支援事業」とあわせ、住環境の向上や商工業の活性化には欠かすことのできない重要な事業であり、波及効果は事業者のみならず地域経済の活性化が図られており、継続した推進が必要である。

また、新規開業が増える一方で持続可能な事業運営を実現していくことが期待されており、経営計画・目標達成に向けた指導・相談体制など、より工夫した推進体制が必要である。

企業誘致の推進においては、なかなか企業誘致がない状況となっており、自然環境や地理的条件など地域の特性を活かしたアプローチなど工夫が必要と思われる。

観光の振興

観光の振興については、各イベントの実施にあたり、ほぼコロナ禍前の形式で実施し、イベント入込客数も増加するなど最大限の事業展開を進められており評価できる。

トロッコ王国は、松山湿原等と連携した観光振興に取り組んでおり、近年の入国者数は１万人を超え増加傾向が見られている。

また、びふかアイランドについては、観光入込客の増加は見られたものの、びふか温泉においてはエネルギー価格や物価の高騰に加え人材不足の運営課題もあり引き続き支援が必要である。

びふか温泉、物産展示館を中心としたびふかアイランド全体の利用客の利便性の向上と満足度の向上を目指すとともに、美深振興公社の長期的展望での再構築を期待する。

新たな産業の振興

新たな産業の振興としてのチョウザメ事業は、キャビア魚の給餌方法などの研究成果も現れ、抱卵魚体の増加が見られるなど飼育技術の向上が認められる。

今後も更なる飼育技術の向上と研究を推進するとともにキャビアの品質向上と安定生産・販売に向けた取り組みが必要であり、より高い品質を市場で認知されることを期待する。

また、魚肉とキャビアを高級料理として食せるような環境づくりにも期待したい。

就労対策・勤労者福祉の充実

就労対策は、上川北部人材開発センターと連携した就職訓練支援など重要な担い手や就業対策として継続的に事業を推進されたい。

勤労者福祉資金制度は、利用がない状況が続いているが、労働者が安心・安定した生活を送るために制度として継続が必要と思われる。

以上のとおり、『地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち』における施策は、A評価が2施策、B評価が4施策であり、全6施策はほぼ取り組まれていると評価する。

○ 次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち

幼児教育・保育の充実

新型コロナウイルス感染症は収まって来ているが、他の感染症などに注視し、子供たちの健康支援に努められている。

多くの子供たちが入園、預かり等で活用しており、今後も、安心・安全な子育て環境を維持し、保護者や地域との連携、人材確保に努めていただきたい。

学校教育の充実

山村留学には全国から子どもたちが集まっており、仁宇布の特色を活かした教育が実践され、受け入れ体制等も整っている。

青少年教育交流は、交流事業児童生徒数は目標値を達成しているが、共働き世帯が増え児童数も減少しているとのことで、今後、実施方法等の課題解決の検討が必要かと思われる。

スクールバスの運行や校舎等の施設整備、エアコン設置等も進められおり、子供たちが学校生活を安心・安全で過ごすための教育環境が整えられている。

美深高校は進学率の向上も図られており、一定程度の入学者数も確保されている。高等養護学校においても生徒が製作した製品を出生者に配布するなど地域との関わりが増え、地域に根ざした特別支援学校づくりが実施され、専門技術を習得することで就労にも結びついている。

社会教育の充実

新型コロナウイルス感染症により中止していた事業も実施され、生涯学習環境事業では「生涯学習フェスティバル」「記念講演会」と新たな事業も実施されている。また、その他の事業も全体的に取り組んでいると判断する。

芸術・文化活動の推進

昨年、課題となっていた郷土資料室の活用として、ふるさと鉄道紹介コーナーの設置や公民館講座を開催するなど新たな利用が行われている。また、COM100ギャラリーにおいても歴史文化資料を展示し、幅広い利用者にPRすることが出来ている。

スポーツ活動の推進

新型コロナウイルス感染症により中止していた町民運動会を見直し、室内（町民体育館）で開催する新たな取り組みや、ミニバレーボール大会や町民マラソン大会の開催と多くの町民の参加があり、今後も高齢化、人口減少が進む中、スポーツによるまちづくりを推進していただきたい。

少年団活動や未来基金を活用した子どもたちの育成支援など、高く評価できる。また、

未来基金は文化活動にも支援を拡大しており、子供たちの活動を広く支援することが出来ている。

冬季スポーツ事業に関してはエアリアル大会の開催など継続した取り組みは評価するが、エアリアル選手の育成や発掘など、町内だけではなく町外にも視野を広げた取り組みが必要である。今後も冬季スポーツ全体を視野に入れて、事業を継続していくための検討が必要である。

以上のとおり、『次代を生き抜く力と豊かな心を育むまち』における施策評価は、5施策すべてがA評価であり、継続して施策が展開されることを期待する。

○ 健やかに安心して暮らせるまち

健康づくり・医療の充実

各種健診・がん検診は町民の健康維持、疾病予防には必要な事業で、達成率も前年より向上し町民の健診への意識は高くなっている。

保健師等養成修学資金等貸付金制度は対象資格や貸付金額を拡大したことで利用者も増え、今後も粘り強く周知を行い、人材確保に努めていただきたい。

美深厚生病院は、地域医療に欠かせない存在であり、安定的な医療サービスが提供されるよう医師・看護師等の人材確保に向けた取組を継続されたい。

子育て環境の充実

母子保健事業は妊娠から出産、子育てと乳幼児だけでなく母親や家族が安心して子育てできる体制になっており、今後も切れ目のない事業を継続されたい。

不妊治療費助成は実績もあり、安心して治療を受けられるよう支援を継続する必要がある。

今年度より医療費助成対象を高校生まで拡充されており、子育て世代の経済的負担が軽減され、子どもたちが安心して医療を受けることが出来ている。

高齢者支援の充実

高齢者への各種事業は、高齢者の社会参加や日常生活の支援を通じて、健康で自立した生活を送るための支援となっており、引き続き安定的なサービスが提供できるよう取組を進められたい。

また、高齢者の在宅生活を維持する上で、外出支援や除雪サービスは重要なサービスであるが、人材不足が懸念されており、人材確保に努められたい。

特別養護老人ホームについては、利用者が安全・安心に利用できる施設となるよう検討いただきたい。

ほっとプラザマイルは地域住民や高齢者の集いの場として利用されているほか、公衆浴場としても利用されているが、最近、葬儀会場としての利用が増えており、利用方法について検討されたい。

障がい者支援の充実

各種障がい福祉サービスについては、法令に基づき適正に事務が実施されており、今後も町独自の支援や、相談支援体制の強化など、障がい者が安心して地域で暮らすための体制整備が必要である。

地域福祉の充実

民生委員による見守・安否確認活動や相談対応など幅広い活動が行われている。

地域福祉の中心を担うのは社会福祉協議会であるため、早急に職員体制を整備し、地域の福祉ニーズにあった各種事業の実施を進めていただきたい。

社会保障の充実

制度に基づく事業であり、問題なく取り組んでいると評価する。

以上のとおり、『健やかに安心して暮らせるまち』における施策評価は、6施策全てがA評価であり、継続して施策が推進されることを期待する。

○ みんなでつくる自立したまち

住民参画のまちづくりの推進

ニューパブリック協議会の買い物宅配サービスは、利用者も増え好評な事業である。高齢者の住みよい暮らしの支援となるよう、引き続き事業の継続と周知に努められたい。

自治会活動の推進については、地域担当員やまちづくり懇談会などを通じて各自治会の現状や課題の把握に努めている。しかし、以前と比較すると地域住民のつながりの希薄化も見られる。地域の自主性を損なわないことが前提であるが、自治会活動の継続のためにも必要に応じて支援されたい。

情報発信・広聴活動については、町の公式的な伝達ツールである広報誌の発行を中心としながらも、「まちづくり懇談会」や「町長への手紙」などによる住民の声を聴く機会、さらに近年はSNSを活用した身近な情報発信、議会の様子を録画配信するなど、新たな取り組みも評価する。

関係人口の創出

移住定住の促進については、希望者が気軽に美深町での生活に触れられるよう、移住体験住宅が整備、活用されている。

地域おこし協力隊の任用は、都市部からの多様な人材を受け入れ、新たな視線でまちづくりに取組める有効な事業である。引き続き、隊員の募集と定住に向けた取り組みを進められたい。

地域交流活動、ふるさと活動に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち

着き従来の活動を再開することができた。引き続き、その関係性を維持できるような取組みが必要である。

チョウザメ事業は、様々な課題はあるものの、産学官連携による推進を引き続き視野に入れ事業を推進していくことを期待する。

行政経営の充実

効率的で効果的な行政経営のため、行政改革や行政評価によるまちづくりの推進、様々な事務事業におけるデジタル化への取組みが進められている。特に日々進歩するデジタル技術に対応するための人材の確保が必要である。

財政基盤確保としては、町税の適正な賦課徴収、ふるさと納税の活用により、安定的な財源の確保に取り組まれている。継続して、税制への理解促進、ふるさと納税制度の利用者拡大に向けて取り組む必要がある。

職員の資質向上は、業務の効率化と住民サービス向上に直結するものである。日々の業務で得ることはもちろんのこと、それに加えて職員研修の機会を積極的に推進されたい。

公共施設の管理については、計画的に維持補修・建替え等が進められているが、課題としている美深町役場の建替えなど多額の財源を要する事業については、引き続き検討が必要である。

以上のとおり、『みんなでつくる自立したまち』における施策評価は、A評価が2施策、B評価は1施策で、全3施策について良く取り組まれていると評価する。

以上、令和5年度行政評価報告とする。

美深町行政評価報告書

付属資料

令和5年度 行政評価事業一覧

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R5実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
人と自然が調和する快適で安全なまち	1 環境保全・環境衛生の推進	A	(2) 生活環境の充実	A	A	A	1-1-2	101	びふか苑等運営事業	8,743	生活環境	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-2	102	有害鳥獣捕獲等事業	15,840	農業/生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(3) 水道施設の適正な維持管理	A	A	A	1-1-3	103	中央簡易水道事業会計補助事業	3,119	水道住宅	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-3	104	中央簡易水道事業	24,358	水道住宅	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-1-3	105	北部簡易水道事業	6,526	水道住宅	A	A	A	A	A	A	見直し		
							1-1-3	106	北部簡易水道繰出金事業	0	水道住宅	A	A	A	A	－	A	事業完了		
							1-1-3	107	給水施設改修事業	0	水道住宅	A	A	A	A	－	A	事業完了		
							(4) 下水道施設の適正な維持管理	A	A	A	1-1-4	108	下水道事業	89,855	水道住宅	A	A	B	A	B
			1-1-4	109	下水道一般会計繰出金（補助）事業	118,524					水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(5) ごみの減量化と施設の維持管理	A	A	A	1-1-5	110	循環型社会推進事業	119,680	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持		
	2 道路・交通網等の整備	A	(1) 公共交通の充実	A	B	A	1-2-1	111	公共交通の確保	124	企画	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							1-2-1	112	交通ターミナル管理事業	6,552	生活環境	A	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-2-1	113	地域公共交通運行事業	24,491	生活環境	A	B	C	A	B	A	現状維持		
			(2) 道路整備の推進	A	A	A	1-2-2	114	橋梁長寿命化事業	50,996	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-2-2	115	町道施設整備事業	40,670	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持		
							1-2-2	116	道路台帳管理業務	979	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持		
							1-2-2	117	幹線道路整備事業	68,200	建設林務	A	A	A	A	B	B	現状維持		
			(3) 人にやさしい道づくり	A	A	A	1-2-3	118	住宅地区道路整備事業	19,129	建設林務	A	A	B	A	A	A	現状維持		
							1-2-3	119	除雪対策事業	143,806	建設林務	B	A	A	A	B	B	現状維持		
	3 住宅の整備	B	(1) 良好な住環境の整備推進	B	B	B	1-3-1	120	住生活基本計画推進事業	0	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持		
(2) 公営住宅等の適切な維持・管理の推進			B	B	B	1-3-2	121	公営住宅長寿命化事業	167,381	水道住宅	B	B	B	B	B	B	現状維持			
4 土地の有効利用	A	(1) 計画的な土地利用の推進	B	B	B	1-4-1	122	土地利用計画	0	建設林務	B	B	B	B	B	B	現状維持			
		(2) 公園・緑地の整備	A	B	A	1-4-2	123	公園緑地管理事業	27,056	建設林務	A	A	B	A	A	A	現状維持			

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価			R5実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政策（中項目）	評価 結果	主要施策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.		事務・事業名			進捗 状況	指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題			
1 人と自然が調和する快適で安全なまち	5 消防体制の充実	A	(1) 消防力・救急体制の強化と救命の連鎖促進	A	A	A	1-5-1	124	消防設備維持管理	2,310	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	125	消防水利維持計画	693	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	126	消防指令装置及びデジタル無線機器運営計画	10,821	消防署	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							1-5-1	127	消防団活動の推進	9,054	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	128	仁宇布自衛消防隊活動補助	100	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							1-5-1	129	事務組合負担金	182,770	消防署	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(2) 予消防・災害弱者対策の推進	A	A	A	1-5-2	130	緊急通報システム運営事業	3,100	消防署	A	A	A	A	A	A	現状維持	
	6 防災体制の充実	A	(1) 防災体制の充実	A	A	C	1-6-1	131	防災体制強化	1,074	総務	B	B	A	B	B	C	規模拡大	
			(4) 治山・治水事業の推進	A	A	B	1-6-4	132	施設保全事業	25,757	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							1-6-4	133	治水対策強化事業	10,677	建設林務	B	B	A	B	C	B	現状維持	
	7 交通安全・防犯対策の推進	A	(1) 交通安全対策の推進	A	B	A	1-7-1	134	地域安全対策推進事業	1,453	生活環境	A	A	B	A	B	A	現状維持	
							1-7-1	135	交通安全推進事業	2,279	生活環境	A	A	A	B	B	A	現状維持	
							1-7-1	136	街灯等維持費負担事業	6,862	生活環境	A	A	B	A	B	A	現状維持	
			(2) 防犯対策の推進				1-7-2	137	防犯対策推進事業	9	生活環境	A	A	A	B	B	A	現状維持	
	8 情報化の推進	A	(1・2) 多様な情報提供の充実/高速情報通信網の活用	B	A	B	1-8-1 -2	138	地域情報通信システム運営事業	25,454	総務	A	A	B	A	B	B	現状維持	
	9 消費生活対策の推進	A	(1) 消費生活対策の強化	A	A	B	1-9-1	139	消費生活相談等事業	411	生活環境	A	A	A	A	B	A	現状維持	
9			18				39			1,218,853									

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価			R5実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政策（中項目）	評価 結果	主要施策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事務・事業名	進捗 状況			指標達成 状況	費用対効果	実施 方法	次年度 課題				
2 地域産業の新たな飛躍へ挑戦するまち	2 林業の振興	A	(1) 森林の保全と育成	A	A	B	2-2-1	225	町有林造林保育事業	17,214	建設林務	A	A	B	A	B	A	現状維持	
							2-2-1	226	民有林造林保育事業	7,947	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(2) 経営基盤の安定強化	A	A	A	2-2-2	227	労働環境改善事業	382	建設林務	A	A	A	A	A	A	現状維持	
							2-2-2	228	林道網整備事業	5,996	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							2-2-2	229	林業経営強化事業	5,171	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							2-2-2	230	森林認証推進事業	150	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(3) 森林に親しむ環境づくり	A	A	A	2-2-3	231	緑化推進事業（植樹祭）	420	建設林務	A	A	A	A	B	A	現状維持	
	3 商工業の振興	B	(1) 経営基盤の安定強化	A	A	A	2-3-1	232	商工業活動支援事業	57,886	経済産業	B	A	A	A	B	A	現状維持	
							2-3-1	233	中小企業支援事業	3,820	経済産業	A	B	A	A	B	A	現状維持	
			(2) 地域経済の活性化の推進	A	A	A	2-3-2	234	交流施設運営事業	2,678	経済産業	A	B	A	A	B	A	現状維持	
							2-3-2	235	快適な住まいづくりと商工業振興事業	11,920	経済産業	A	A	A	A	A	A	現状維持	
			(3) 企業誘致・創業支援の推進	A	A	B	2-3-3	236	企業誘致促進事業	0	経済産業	D	D	B	B	D	C	見直し	
							2-3-3	237	商工業担い手支援事業	12,456	経済産業	A	A	A	A	B	A	規模拡大	
	4 観光の振興	B	(1) 観光推進体制の強化	A	A	A	2-4-1	238	観光推進体制支援事業	21,000	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(2) 地域資源をいかした新たな観光資源の発掘・育成	A	A	A	2-4-2	239	観光PRとイベント支援事業	8,742	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持	
							2-4-2	240	魅力ある観光地づくり推進事業	1,698	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持	
			(3) 観光施設等の充実	A	A	A	2-4-3	241	観光施設運営事業	112,196	経済産業	A	A	A	A	B	A	現状維持	
5 新たな産業の振興	B	(1・2) チョウザメの飼育技術の確立と人材の育成・確保/チョウザメ製品の開発・販路拡大の推進	A	A	B	2-5-1 -2	242	チョウザメ振興事業	68,678	経済産業	B	C	B	B	B	B	現状維持		
6 就労対策・勤労者福祉の充実	B	(1) 雇用の安定と確保	B	B	B	2-6-1	243	就労活動支援事業	244	経済産業	B	C	B	A	B	B	現状維持		
		(2) 労働環境の充実	B	B	B	2-6-2	244	労働者福祉支援事業	5,350	経済産業	B	B	B	B	B	B	現状維持		
7			17				44			463,519									

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R5実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
3	1 幼児教育の充実	A	(1) 幼児教育・保育の充実	A	A	A	3-1-1	301	幼児センター運営事業	68,791	幼児セ	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(2) 子育て支援事業の充実	A	A	A	3-1-2	302	子育て支援事業	480	幼児セ	A	A	A	A	A	A	現状維持		
	2 学校教育の充実	A	(1) 特色ある教育活動の充実	B	B	B	3-2-1	303	山村留学推進事業	3,807	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-2-1	304	青少年教育交流事業	100	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-2-1	305	児童生徒就学支援事業	4,555	教育	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(2) 学力と体力の向上	B	B	B	3-2-2	306	英語教育推進事業	19,771	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-2-2	307	教育活動・研究推進事業	2,384	教育	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(3) 安心して学べる環境づくり	B	B	B	3-2-3	308	スクールバス事業	22,119	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-2-3	309	学校給食運営事業	48,513	教育	A	A	A	A	C	A	現状維持		
							3-2-3	310	学校施設整備	122,166	教育	A	A	B	B	B	B	現状維持		
							3-2-3	311	教育環境整備	4,991	教育	A	A	A	B	B	A	現状維持		
			(4) 地域と一体となった学校づくりの推進	B	B	B	3-2-4	312	学校運営協議会事業	236	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(5) 特別支援教育の充実	A	A	A	3-2-5	313	特別支援教育推進事業	3,697	教育	A	A	A	A	A	A	現状維持		
			(6) 高等学校教育の充実	B	A	A	3-2-6	314	高等学校教育推進事業	19,991	教育	A	B	B	A	B	A	現状維持		
	3 社会教育の充実	A	(1・5) 家庭・地域教育の推進/次代を担うリーダーの養成	B	B	B	3-3-1 -5	315	家庭・地域教育推進事業	200	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(2) 子どもの居場所づくり	B	B	B	3-3-2	316	放課後健全育成事業	8,959	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(3) 生涯学習環境の充実	B	B	B	3-3-3	317	生涯学習環境事業	1,513	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-3-3	318	図書室運営事業	8,023	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(4) 青少年の健全育成	B	B	B	3-3-4	319	青少年健全育成事業	1,050	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
	4 芸術・文化活動の推進	A	(1) 芸術・文化活動の推進	B	B	B	3-4-1	320	芸術・文化活動事業	80,435	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
			(2) 歴史資料の保存と伝承	B	B	B	3-4-2	321	郷土資料保存事業	1,693	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
	5 スポーツ活動の推進	A	(1) スポーツによるまちづくりの推進	A	B	A	3-5-1	322	冬季スポーツ事業の推進	1,626	教育	C	B	B	C	C	C	見直し		
							3-5-1	323	スポーツ振興事業	893	教育	B	A	A	A	B	B	現状維持		
							3-5-1	324	スポーツ団体育成事業	2,746	教育	B	B	B	B	B	B	現状維持		
							3-5-1	325	こどもスポーツ未来基金事業	500	教育	A	A	A	A	B	A	現状維持		
			(2) スポーツ施設の充実	A	A	B	3-5-2	326	体育施設運営事業	74,713	教育	A	B	A	A	B	B	現状維持		
5			16				26				503,952									

基本目標 (大項目)	3次評価		2次評価				1次評価				R5実績額 (千円)	担当 グループ	事業の検証					事業 評価	今後の 方向性	総合 戦略
	政 策（中項目）	評価 結果	主 要 施 策（小項目）	妥当性	有効性	進捗状況	事業No.	事 務・事 業 名	進捗 状況	指標達成 状況			費用対効果	実施 方法	次年度 課題					
4 <																				

健やかに安心して暮らせるまち

3次評価集計

A. 取り組んでいる	23	79%
B. 概ね取り組んでいる	6	21%
C. 一層の取り組みが必要	0	0%
D. 取り組みが見られない	0	0%
計	29	100%

2次評価集計

主要施策	妥当性		有効性		進捗状況	
A. 良好	61	70%	52	60%	40	46%
B. 概ね良好	26	30%	35	40%	44	51%
C. やや課題あり	0	0%	0	0%	3	3%
D. 課題多い	0	0%	0	0%	0	0%
計	87	100%	87	100%	87	100%

※ 1つの施策で複数評価しているものがあるため、主要施策数とは一致しない

1次評価集計

主要施策	進捗状況		指標達成状況		費用対効果		実施方法		次年度課題		事業評価	
A. 良好	110	67%	110	67%	99	61%	114	70%	39	24%	99	61%
B. 概ね良好	49	30%	49	30%	61	37%	47	29%	115	71%	60	37%
C. やや課題あり	2	1%	3	2%	2	1%	2	1%	5	3%	4	2%
D. 課題多い	2	1%	1	1%	1	1%	0	0%	1	1%	0	0%
- 実績なし	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	3	2%	0	0%
計	163	100%	163	100%	163	100%	163	100%	163	100%	163	100%

未来へ続く
笑顔あふれるまち

